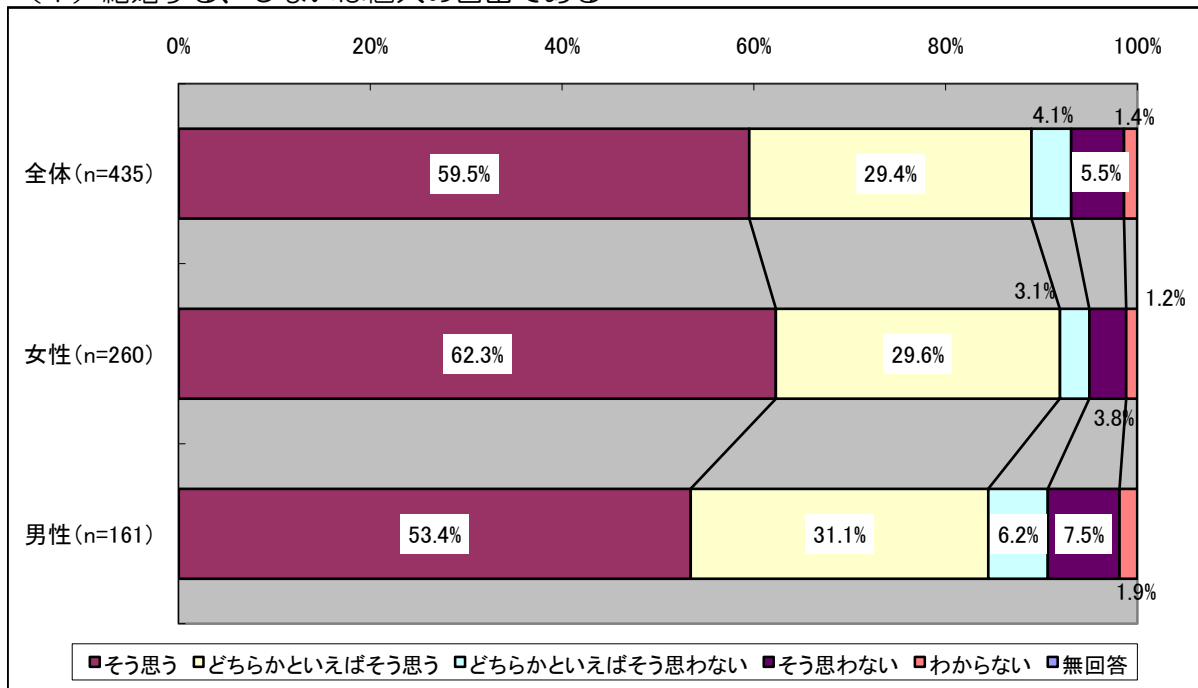


問2 最近では、家族のあり方が大きく変化しており、結婚や出産などに対する考え方も多様化しています。次にあげる考え方について、あなたはどのように思いますか。（〇はそれぞれ）

(1) 結婚する、しないは個人の自由である

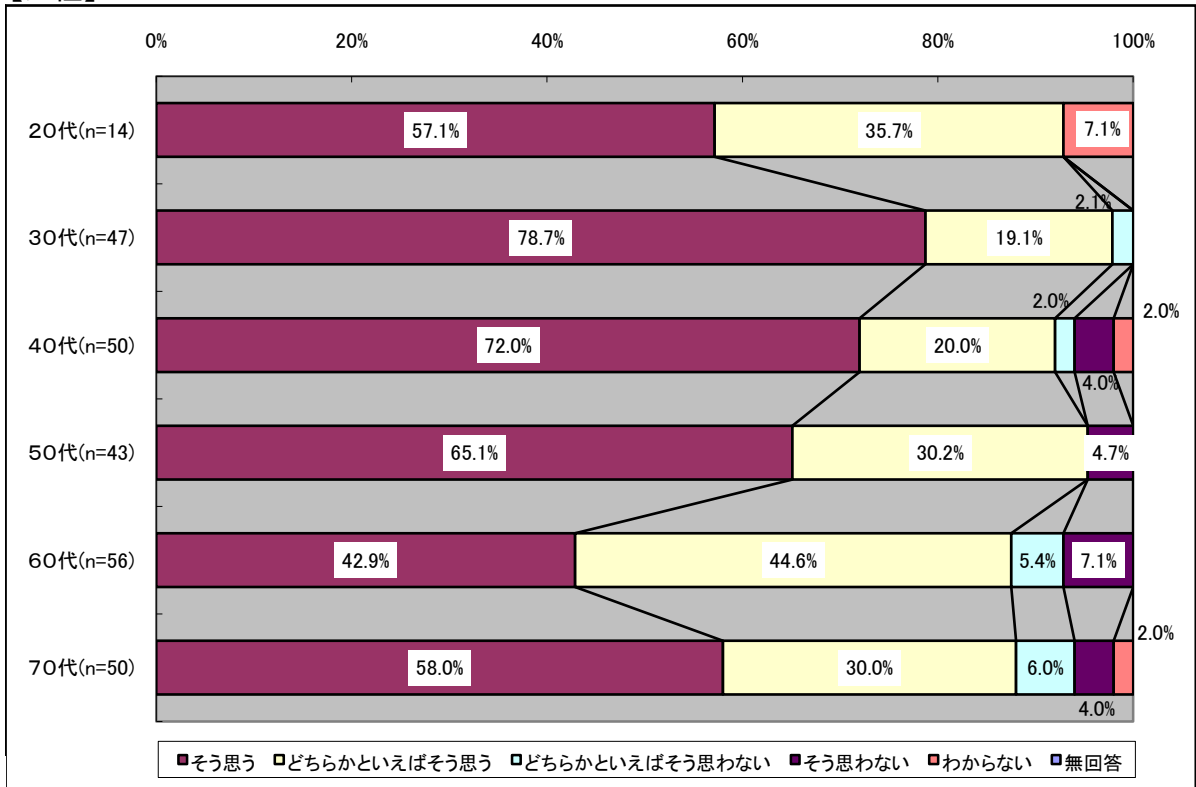


全体、性別ともに「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“肯定派”が9割前後を占めている。

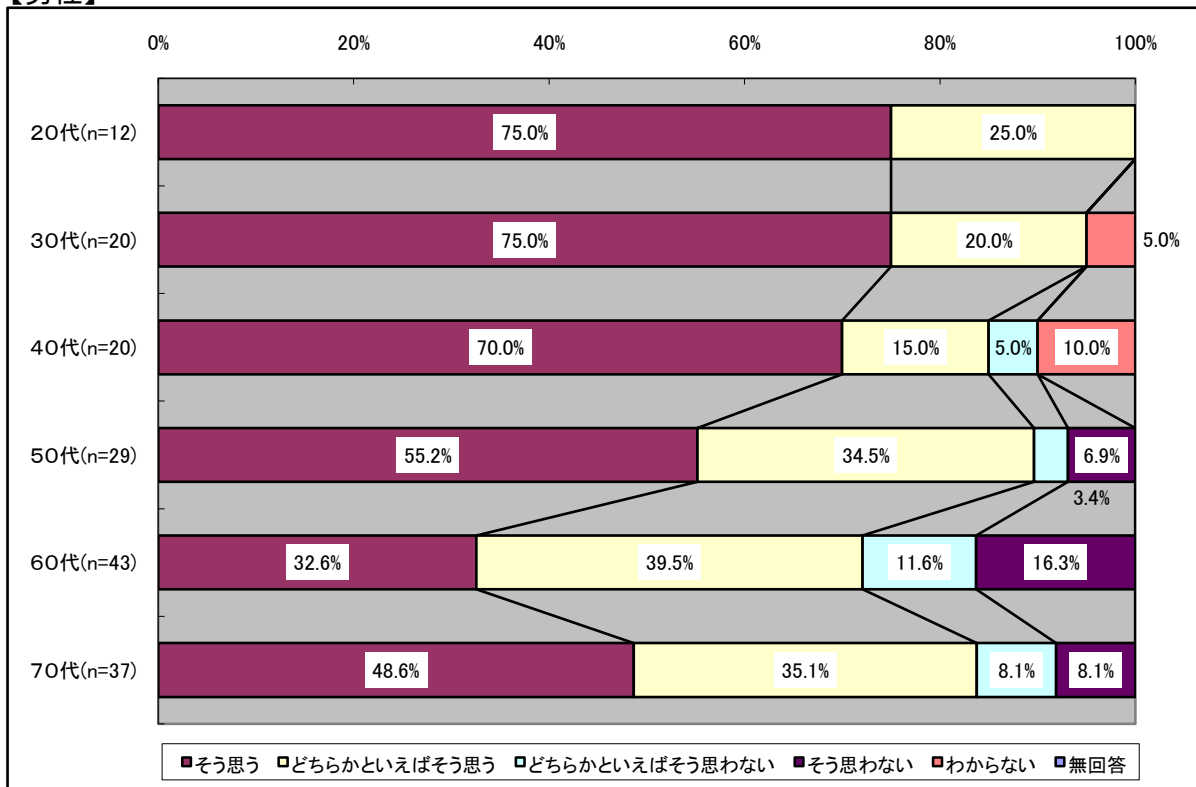
年代別で見ると、20代男性が最も多く、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が100%となっている。次いで多いのは30代女性で、97.8%となっている。また、“否定派”は60代男性に最も多く、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計が27.9%となっている。

<性・年代別>

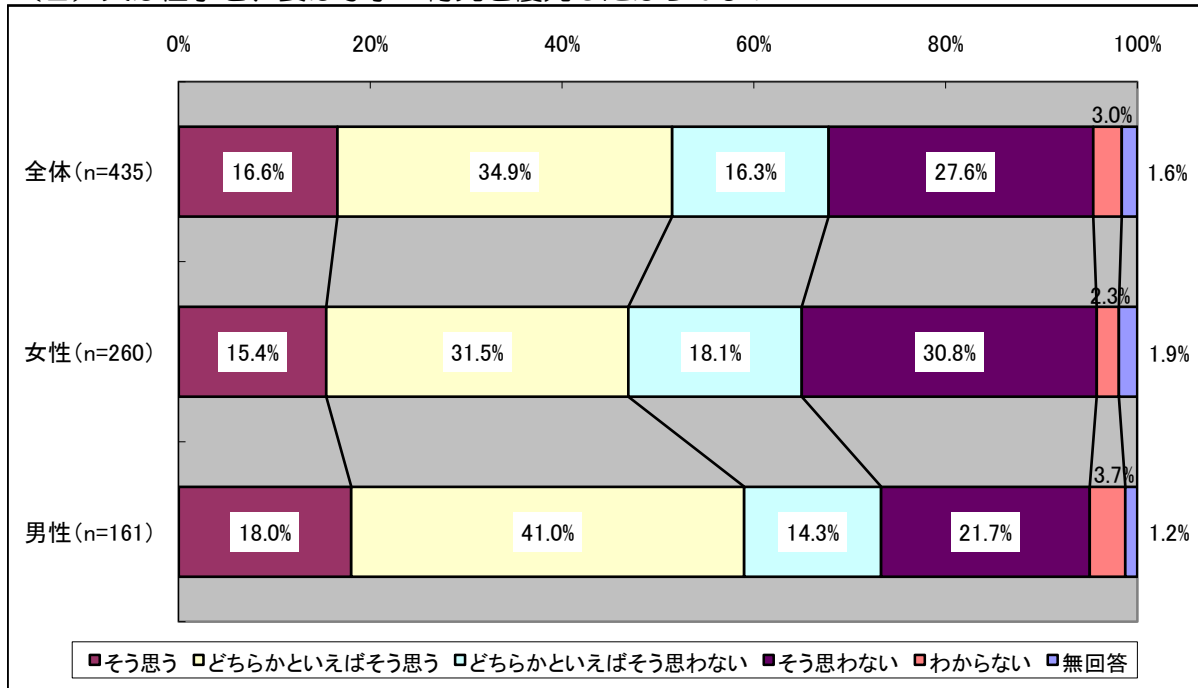
【女性】



【男性】



(2) 夫は仕事を、妻は家事・育児を優先したほうがよい



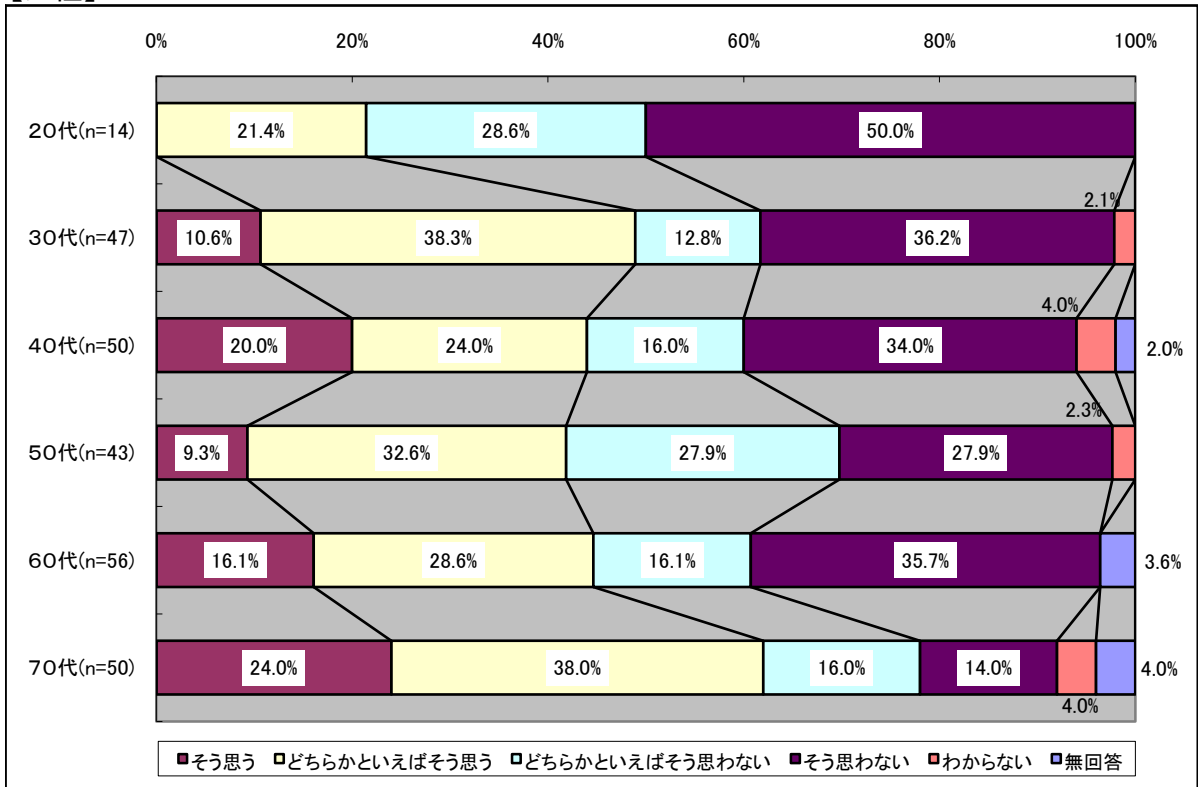
全体で見ると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合計した肯定派（割合）が「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の否定派（合計）をやや上回っている。

性別にみると、女性においては肯定派と否定派で大きな差は見られないが、男性では肯定派の方が多く、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計36.0%に対し、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は59.0%と大きく上回っている。

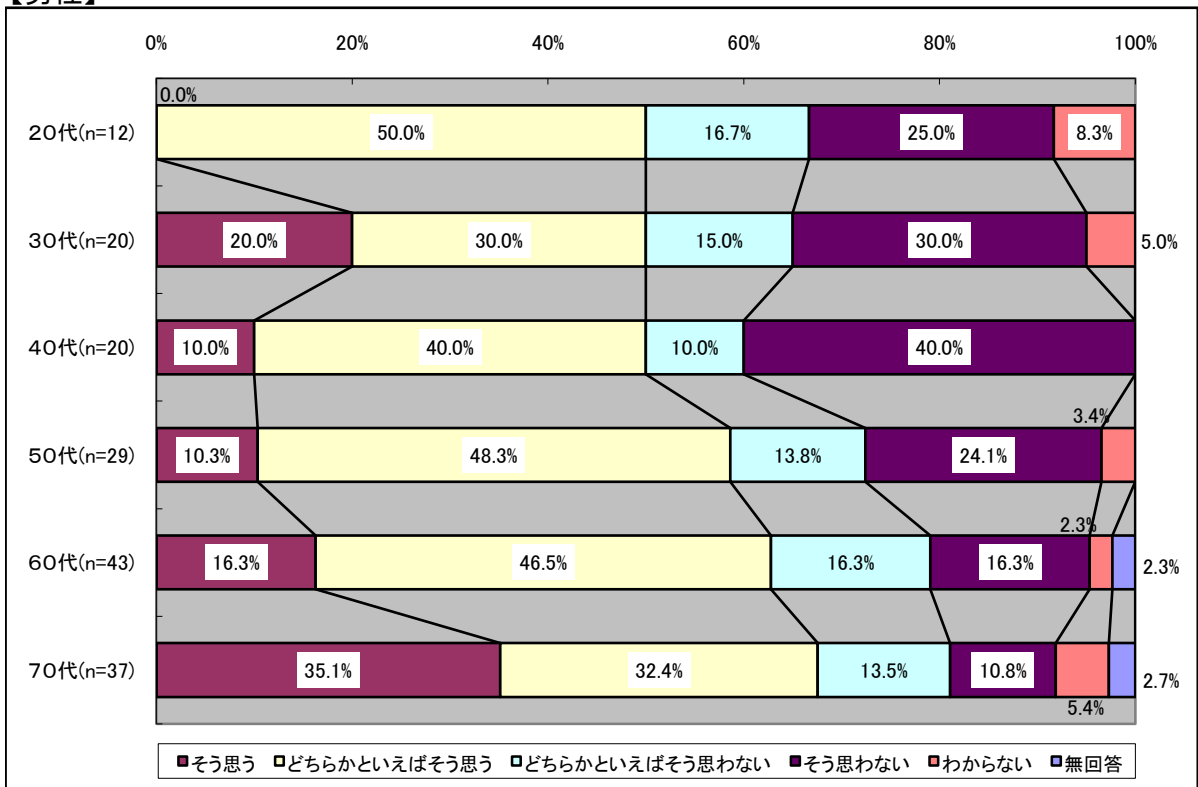
年代別に詳しく見ると、肯定派は70代男性の67.4%、否定派は20代女性の78.6%がそれぞれ最多となっている。男性においては年齢が高くなるにつれ「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の肯定派の割合が高くなる傾向がある。

<性・年代別>

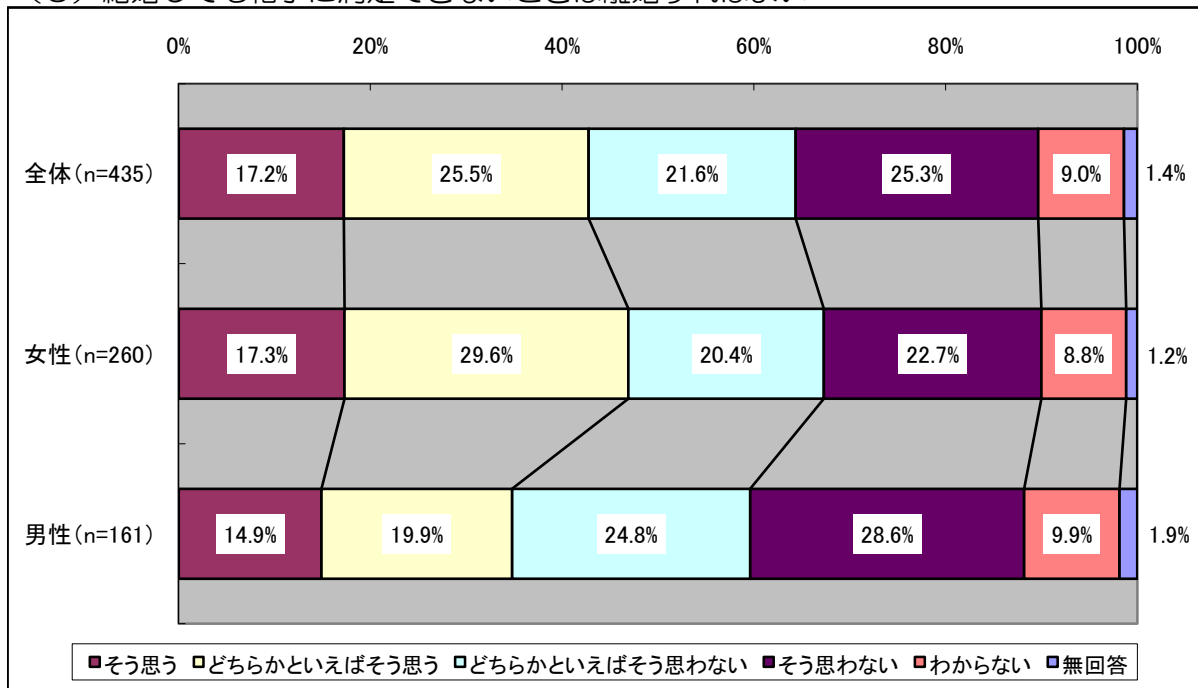
【女性】



【男性】



(3) 結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい

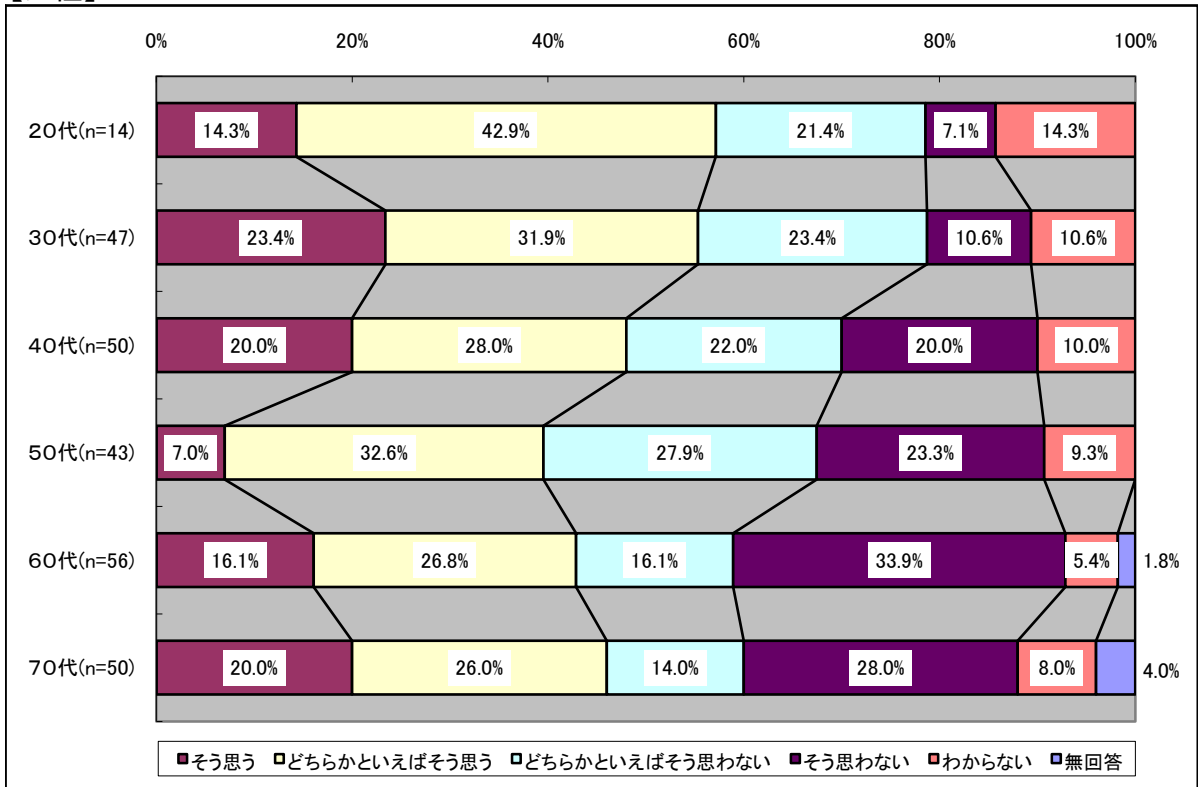


全体、女性において、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合計した肯定と「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の否定派に大きな差は見られない。

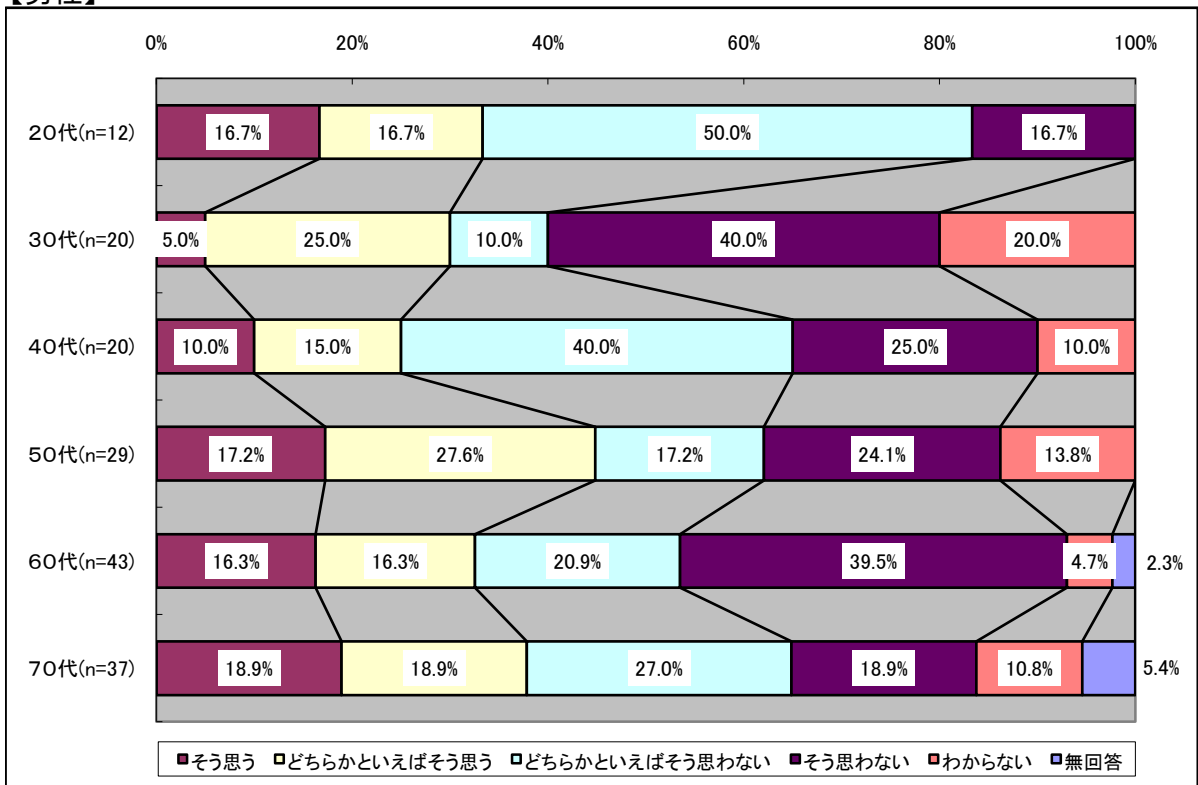
しかし、男性は否定派が多く、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の割合（53.4%）が「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合（34.8%）を大きく上回っている。その傾向は20代男性で最も顕著であり、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の割合が66.7%となっている。

<性・年代別>

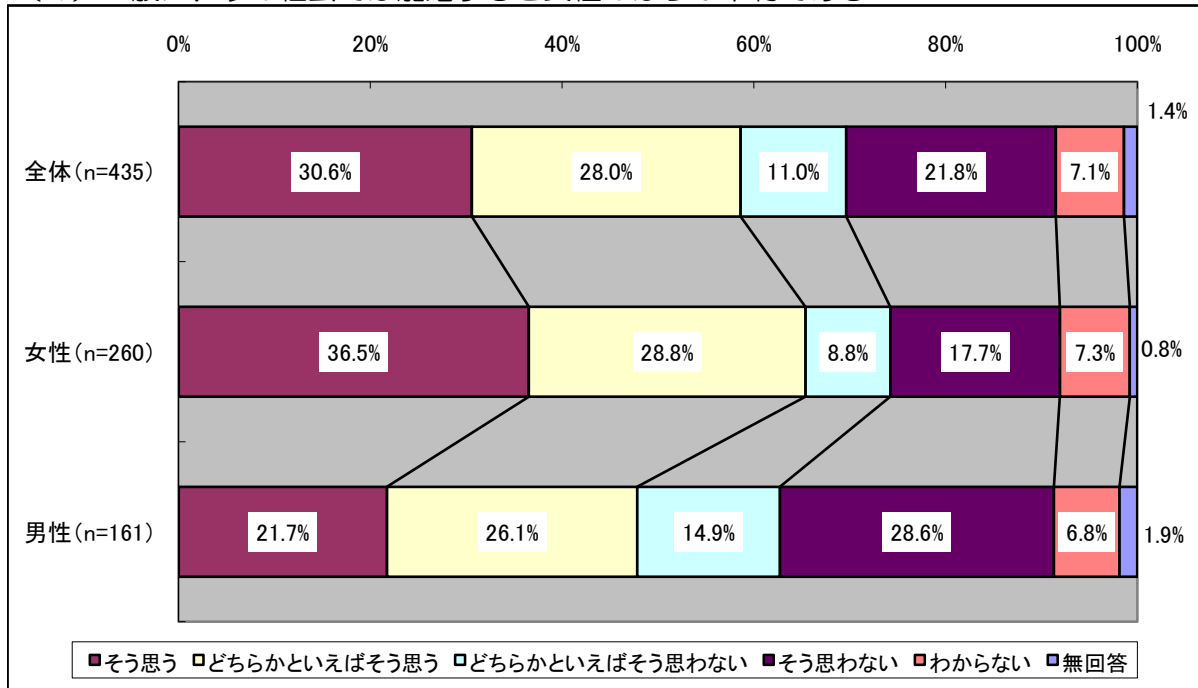
【女性】



【男性】



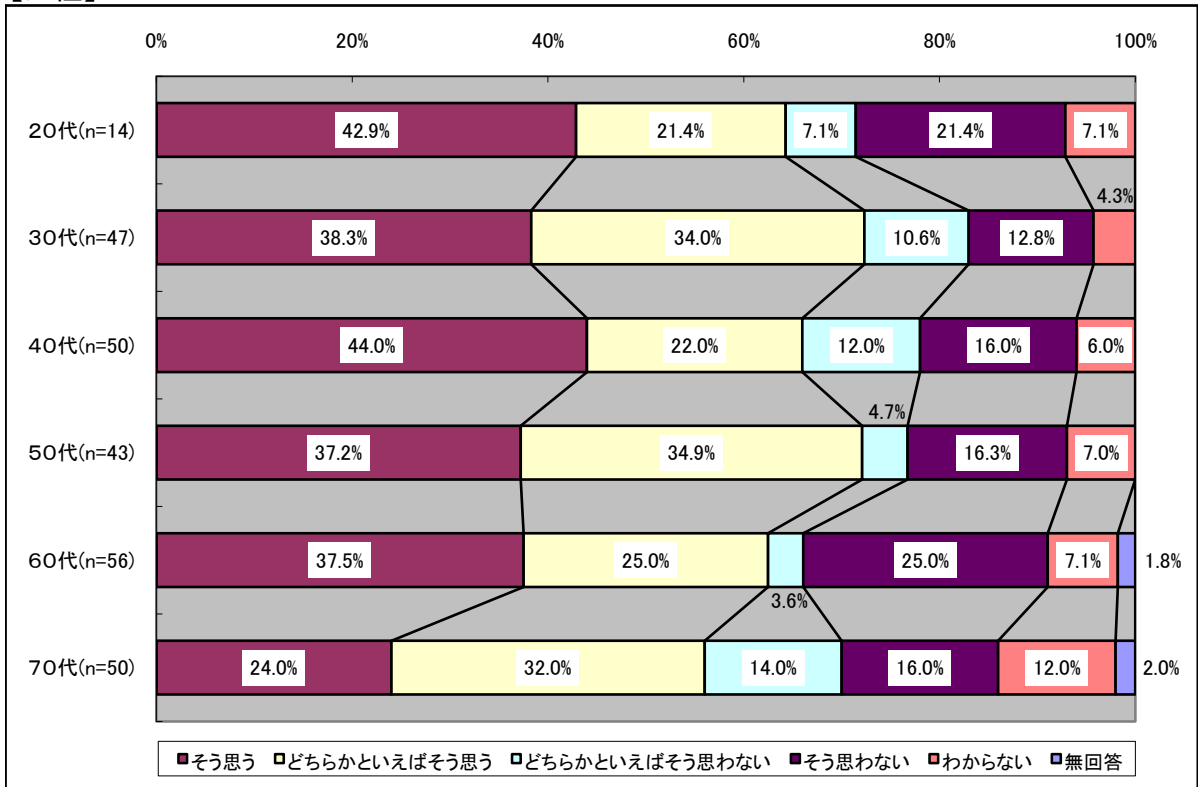
(4) 一般に、今の社会では離婚すると女性のほうが不利である



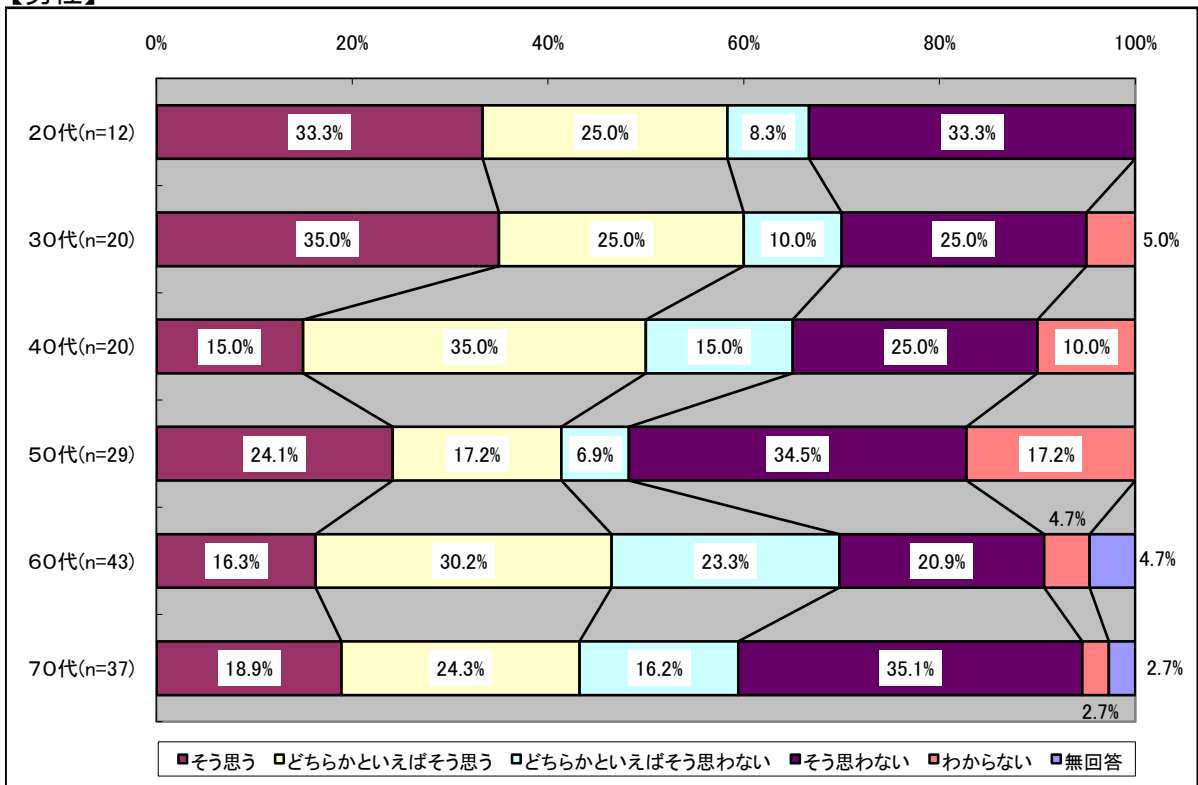
全体で見ると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合計した肯定派の割合（58.6%）が「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の否定派の割合（32.8%）を大きく上回っている。女性において、その傾向はより顕著であり、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計26.5%に対し、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は65.3%となっている。男性については、肯定派と否定派の割合に大きな差はみられない。

<性・年代別>

【女性】

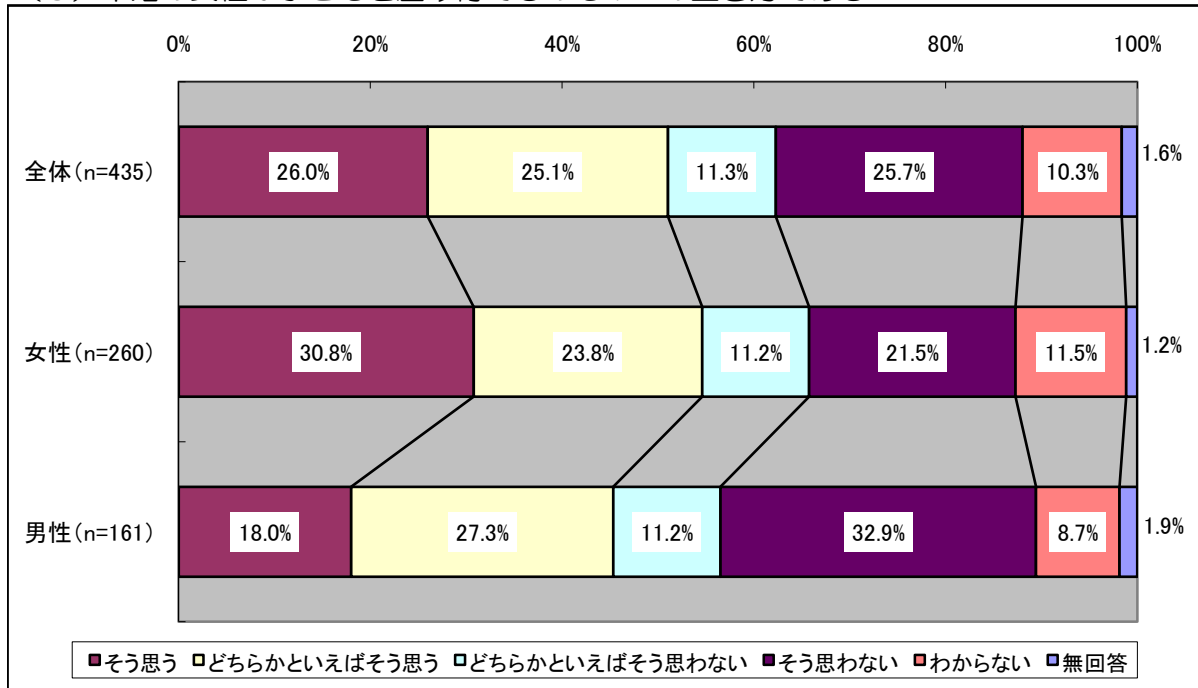


【男性】





(5) 未婚の女性が子どもを産み育てるのも1つの生き方である

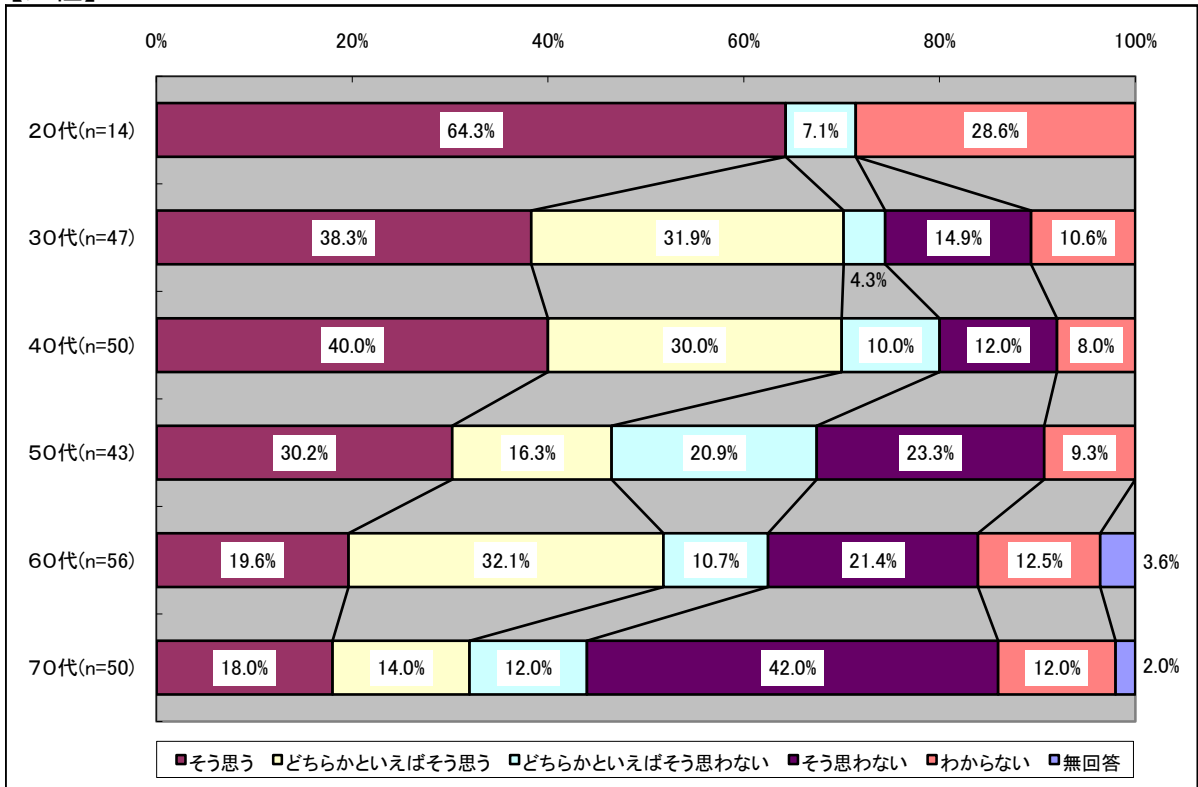


全体、女性において肯定派が否定派を上回っている。

年代別にみると、女性、男性ともに年齢が高くなるにつれ、否定派（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）の割合が高くなる傾向にある。

<性・年代別>

【女性】



【男性】

